□書　評□

「骨盤臓器のMRI診断」

島根医科大学助教授・放射線部　杉　村　和　朗

東邦大学医学部教授・放射線医学第2講座

平　松　慶　博

今までに多くのMRIに関する著書が出版されたが，一般に著書というものは出版までに長い準備期間が必要であり，殊に画像診断に関するものは出版されたころにはかなりの部分がoutdatedとなってしまっていることが多い．特にMRIに関しては技術の進歩は極めて速く，またその臨床応用もほかの検査法に類をみない速度で進んでいる．1年前の画像が既に古いものに感じられることが多い．

このたび，杉村和朗先生のひたむきな努力で出版された「骨盤臓器のMRI診断」は例外的である．MRIの技術的側面という基礎を扱った第1章において，最近の高速撮像法のトピックスであるKスペースに関する記載も盛り込まれ，また第2章の骨盤の正常解剖においては，各臓器の解剖に関する必要知識がぎっしり入っている．それに続く各臓器のMRI診断の各章では，豊富な臨床例の中から選び抜かれた症例がわかりやすく配されており，しかも必要に応じてCTや超音波像，更に病理標本との対比も行われており，理解しやすい．これから腹部のMRIに取り組もうとしている医師にはもちろん，ある程度MRIの臨床に馴染んでこられた医師にとっても非常に役立つすばらしい教科書である．

杉村先生は若手の放射線科医のホープであり，学会における活動はもちろん，後輩の指導においても優れていると聞く．本書の構成の親切さには先生の人格がよく出ていると思う．つまり，極めて丁寧にわかりやすく説明されている．最近いろいろと杉村先生の教育講演などを聞く機会に恵まれたが，講演で用いられているような平易な文章で書かれているのはうれしい．

本書を初めから最後まで読破すると，骨盤腔のMRIに関する知識が完全に身に付くこと請け合いである．ただし，なるべく短い期間に読み終えないと，MRIの知識は更にどんどん進んでいってしまうことを忠告したい．

● B5　288頁　図63　写真445　原色図2　1993　定価15,450円（税込）　〒400

医学書院　刊（☎03-3817-5657）

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2012

2026/10/11 06:03:39